

米国の都市の子供の遊び

USIS —

何処の国の子供もゲーム遊びが好きです。遊び道具と名の付くようなものがない時でも子供達は棒切れや石やその他何でも見つけたものでいろいろのゲームを工夫します。

アメリカの都市ではゲーム遊びは子供達の生活から離せないものです。すべての大きな都市、又多くの小さな都市に、管理された児童遊園センターがありますが、多く子供達のはすつとてとうとり早く自分達の家の近くでゲームをして遊ぶことも好きです。都会では自動車や歩行者の交通が激しく、空地が少ないので、都会の子供のよく遊ぶゲームは大てい、最少限の空間と材料で出来るようなもの

うなものがない時でも

うな時でも、子供達は棒切れや石やその他の何でも見つけたものでいろいろのゲームを工夫します。コンクリートの道路の上に二、三本線を引いただけ出来るようなゲームが一般によく遊ばれるようです。此処に掲げる写真は、アメリカの子供達の最もよく遊ぶゲームの中の幾つかです。

男の子達がよく遊ぶ遊び、「スカリーラ」と呼ばれるところのゲームは、アイルランド語です。もとはアイルランド人が発明した遊びなのでしょうか、誰も確実なことは知らないようです。この遊びでは、ゴムまりを弾ませて、その



男の子達がよく遊ぶ遊び。

「スカリーラ」と呼ばれるところのゲームは、アイルランド語です。もとはアイルラ

ンド人が発明した遊びなのでしょうか、誰も確実なことは知らないようです。

少の女の子の遊びと云えます。写真の手前に見える「チャックス」は、小さな金属で全国どこでも小さな店で安く買えます。この遊びでは、ゴムまりを弾ませて、その

が、そういうゲームは大てい何かたやすく手に入る物と一緒に使います。「スカリーラ」では、清涼飲料水の壙のふたの使い古しを用います。それを人指し指ではざいして、番号をうつたままでの中に打ちこみます。それが得点になって、相手と競争するわけです。

間にチャックスを拾い上げ（十まで拾います）まりが地面につく前にまりを受けとります。最初の回は、一つのチャックスを拾いそれから二つ、三つ四つという風にだんざわ山拾ってゆきます。片方の手だけ用います。失敗じつたら、相手の人代りに



「インディアン・レスリング」は体力の競争なので、男の子に喜ばれます。相手のバランスを破って、右足を動かさせるのが

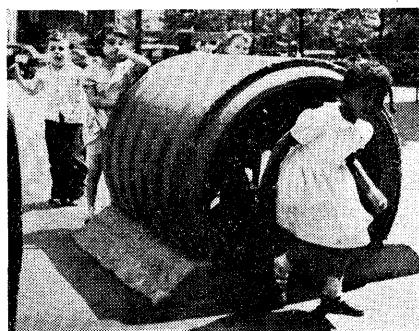
「リーダーのやる通りに」は子供達に大変面白がられて、一般的な遊びです。一人がリーダーに指名されて、その子供がいろいろの行動をしますと。あの子供達が丁度



「縄とび」は極めて一般的です。この写真では、二人の女の子が同時に縄が足につかないように跳んでいます。こういう材料と空間の要らないようなゲームがアメリカの大都会での一般的遊びです。

このゲームの目的です。三回やつて二回勝った人が勝ちです。

「縄とび」は極めて一般的です。



その他、かくれんぼ、馬とび、石けりなどもよく遊ばれる遊びです。

(米国大使館文化交流局)

同じようにまねをするのです。今、土管の中から出て来た子供がこのゲームのリーダーです。後から皆がついて来ます。リーダーのやる通りに出来なかつた子供は除けられて新らしいリーダーが出来るまで待ちます。